

# SX80、MX700 または MX800 エンドポイントの プロダクト ID を変更して下さい

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[Webインターフェイス Option 鍵 インストール例](#)

[CLI Option 鍵 インストール例](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

この資料に SX80、MX700 および MX800 エンドポイントのプロダクト ID を変更するか、または変換するために Option 鍵を適用する方法を記述されています。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

TC および CE ソフトウェアはエンドポイントを基づかせていました

Webインターフェイスおよびか Command Line Interface ( CLI ) によって到達可能であるインストールに成功された SX80、MX700 または MX800 エンドポイントのおよび有効な IP アドレス適用される。

に適用されておおよびあらゆるオプションまたはリリースの認可電子メール受け取られるデバイスシリアル番号のための有効なをキー入力します。

Webインターフェイスか Command Line Interface ( CLI ) によって管理者 アカウントの SX80、MX700 または MX800 エンドポイントにアクセスしました。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

CE ソフトウェア 8.X リリース。

TC ソフトウェア 7.X リリース。

CE ソフトウェア CE8.2.1 リリース。

SX80 エンドポイント。

ターミナルソフトウェア

--また、PuTTY のようなセキュア シェル ( SSH ) をサポートするターミナル エミュレーションソフトウェアを、セキュア CRT、TeraTerm 等使用する可能性があります。

Option 鍵の認可電子メール。

Webブラウザ、Firefox のような、Internet Explorer か Chrome。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

**可能性のあるプロダクト ID は SX80 および MX800/700 エンドポイントのために認可します:**

SX80 = LIC-SX80

MX700 = LIC-MX700-D-S

MX700 スピーカートラック = LIC-MX700-D-D

MX800 = LIC-MX800-S-S

MX800 スピーカートラック = LIC-MX800-S-D

MX800D Dual 画面 = LIC-MX800-D-D

注: SX80 および MX700/800 ユニットは同じ物理的なハードウェアコーデックを使用します。エンドポイントの種類を規定する Option 鍵を適用する必要があるプロダクト ID を変更するため。

## 設定

このビデオ Web インターフェイス例はこの資料を補います。

### Web インターフェイス Option 鍵 インストール例

ステップ 1. 正しいプロダクト ID 用の Option 鍵が含まれている認可電子メールを検討して下さい。このガイドでは、SX80 は MX800 に変換します。プロシージャは SX80 に MX700 か MX800 を変換するため同じです:

#### 電子メール例

\*\*\* IMPORTANT - DO NOT DISCARD THIS E-MAIL \*\*\*

You have received this email because your email address was provided to Cisco Systems during the Serial Number Lookup process for software license activation key/file. Please read this email carefully and forward it with any attachments to the proper system administrator if you are not the correct person.

System Serial Number : FCZ [REDACTED]  
Hardware Serial Number : FTT [REDACTED]  
MAC Address : E4C722661F00  
Service Contract : [REDACTED]  
SC End Date : [REDACTED]

Software Part Name : LIC-TB-S52020:  
Tandberg Item No : :  
Shipped Version : TC7.1.4  
Shipped Version Key : [REDACTED]  
Shipped Image URL : -

Options  
Cisco Option Name :LIC-MX800-S-D:  
Tandberg Option Name ::  
Option Key :1P005-1-[REDACTED]

Options  
Cisco Option Name :LIC-TC-CRYPTO-K9:  
Tandberg Option Name ::  
Option Key :1C000-1-[REDACTED]

ステップ 2.管理者 アカウントの Web インターフェイスへのログイン、メンテナンス > オプションキーへのナビゲート。

The screenshot shows the Cisco TelePresence SX80 web interface. At the top, there is a blue header with the Cisco logo and the text "Cisco TelePresence SX80". Below the header is a navigation bar with tabs for Home, Call Control, Setup, Security, Maintenance, and Integration. The user is logged in as "admin".

The "Maintenance" menu is open, showing options: Diagnostics, System Logs, Call Logs, User Interface Screenshots, Software Upgrade, Option Keys (highlighted with a mouse cursor), Backup and Restore, System Recovery, and Restart.

The "System Information" page is visible in the background. It has a "General" section with the following details:

- Product: Cisco TelePresence SX80
- Last boot: last Thursday at 22:43
- Serial number: FTT [REDACTED]
- Software version: ce 8.2.1 Final e9daf06 2016-06-28
- Installed options: Encryption, MultiSite, RemoteMonitoring

At the bottom of the System Information page, there is a table with the following columns: System name, IPv4, IPv6, MAC address, Temperature, Status, Proxy, and URI.

System name	IPv4	IPv6	MAC address	Temperature	Status	Proxy	URI
-	[REDACTED]	-	E4:C7:22:6A:84:B0	66.9°C / 152.4°F	Registered	[REDACTED]	[REDACTED]

ステップ 3. Option 鍵 value を Option 鍵 フィールドで入力し、Option 鍵を『Add』 をクリックして下さい。コーデックを再起動して下さい。

Type	Description	Key	Status
Encryption	Enables encryption of media streams.	1C000	Active
MultiSite	Enables hosting of meetings with up to four participants	1M003-	Active
RemoteMonitoring	Enables snapshots of local and remote video sources in the web interface	1S000-	Active

Add option key

Serial number

Option key: 1P005-

Contact your Cisco representative to obtain option keys. You need to provide the serial number to get option keys.

Add option key

注: MX800 ST プロダクト ID はコード 1P005 から開始します。各コーデックタイプに自身のプロダクト ID があります: LIC-SX80 = 1P001/LIC-MX700-D-S = 1P002/LIC-MX700-D-D = 1P003/LIC-MX800-S-S = 1P004/LIC-MX800-S-D = 1P005/LIC-MX800-D-D = 1P006。

## CLI Option 鍵 インストール例

ステップ 1. 管理者 アカウントとターミナルソフトウェア SSH セッションおよびログインを実行して下さい。

ステップ 2. コマンドを実行して下さい: **Add 鍵 xCommand SystemUnit OptionKey: [Option 鍵]**

ステップ 3. コマンドを実行して下さい: **xCommand SystemUnit ブート:**

注: 通常、Option 鍵の値を入力することは再起動を必要としません。Option 鍵 Product ID の値を入力することは変更が実施されることができるようにより再起動が要求します。

```
 Luisga -- -bash -- 124x45
Last login: Sun Apr 23 09:47:22 on ttys000
LUISGA-M-C1VB:~ luisga$ ssh admin@
Password:
Welcome to
Cisco Codec Release ce 8.2.1 Final e9daf06 2016-06-28
SW Release Date: 2016-06-28
*r Login successful

OK

[xCommand SystemUnit OptionKey Add Key: 1P005-
OK
*r OptionKeyAddResult (status=OK):
** end

[xcommand SystemUnit Boot
OK
*r SystemUnitBootResult (status=OK):
** end
CUIL reboot request, restarting
tshell: Remote closed connection
Connection to closed.
LUISGA-M-C1VB:~ luisga$
```

## 確認

エンドポイント Web インターフェイス ホームページの右上隅でバナーを検査して下さい。変更される製品タイプを確認すれば今このガイドの MX800 である正しいデバイスの種類を示します。製品を検査して下さい: ホーム > システム情報 > 一般 > 製品 の下のフィールド値: フィールドの URL のみが置換されます。製品を確認して下さい: フィールド値は変更し、このガイドの MX800 である正しいデバイスの種類を示します、:

System Information

General		H323	
Product:	Cisco TelePresence MX800 SpeakerTrack	Gatekeeper	Inactive
Last boot:	today at 23:38	Number	-
Serial number:	[REDACTED]	ID	-
Software version:	ce 8.2.1 Final e9daf06 2016-06-28	SIP Proxy 1	
Installed options:	Encryption MultiSite RemoteMonitoring	Status	Failed: 485 Ambiguous / Device type mismatch
System name:	-	Proxy	[REDACTED]
IPv4:	[REDACTED]	URI	[REDACTED]
IPv6:	-		
MAC address:	E4:C7:22:6A:84:B0		
Temperature:	67.5°C / 153.5°F		

## トラブルシューティング

プロダクト ID キーはこれです予期された動作 オプション キー ページで示すことを行っていません。

プロダクト ID キーを適用して下さいシステムおよびあなたにエラー既にある:

Webインターフェイス: 「追加は Option 鍵失敗しました: 詳細不明のエラー」

CLI SSH: 「無効なフォーマット、間違った製品または既にインストールされる」。

**注:** Option 鍵プロダクト ID を追加した後コーデックを常に再起動して下さい。

必要とするデバイスの種類が付いているキー一致の最初の 5 デジタル コードかどうか確認して下さい:

LIC-SX80 = 1P001  
LIC-MX700-D-S = 1P002  
LIC-MX700-D-D = 1P003  
LIC-MX800-S-S = 1P004  
LIC-MX800-S-D = 1P005  
LIC-MX800-D-D = 1P006

それが場合、正しいコードと Option 鍵プロダクト ID を要求できます。

このガイドとこのガイドの Troubleshoot セクションで文書化されています手順を確認した後エラ

一に出会ったら Cisco TAC に連絡して下さい。